

登録コード	SE511400	開講年度	2026						
授業題目	陸水生態学演習				担当教員	宮原 裕一			
英文授業名	Exercise in Aquatic Ecology				副担当				
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学年	4年	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目		備考	選択
信大コンピテンシー	該当								
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】				
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ								
	【2023年度以降加付対象】理学の各分野における専門知識				陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。				
	【2023年度以降加付対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。				
	【2023年度以降加付対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力				陸水生態系に関する論文の内容を理解し, 他者に分かりやすく説明することができる。				
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生								
(3)全学横断特別教育プログラム									
(4)授業の概要	卒業研究のテーマに関連する英語論文を取り上げて文献紹介を行い、それに基づいて討論をする。								
(5)授業のキーワード	湖沼生態系、河川生態系、物質循環、エネルギーフロー								
(6)授業計画	週 1 回、最新の研究論文について数人が話題提供し、討論する。 なお、最終回には授業のふりかえりを入力する。								
(7)成績評価の方法	出席と討論への参加状況から評価。								
(8)成績評価の基準	発表と討論への参加状況について評価する。 発表に際し、 1) 適切な題材を選び、 2) 分かりやすい資料を準備し、 3) 丁寧に分かりやすい発表ができれば、かなり上にあると評価する。 また、討論に積極的に参加し、適切な質疑ができたかも加味する。								
(9)事前事後学習の内容									
(10)履修上の注意	諏訪臨湖実験所（諏訪市湖岸通り5 - 2 - 4）で行います。								
(11)質問,相談への対応	随時対応する。								
【教科書】									
【参考書】	河川生態学入門、平林公男・東城幸治編 共立出版								